

泉南アスベスト国会通信

●大阪・泉南アスベスト国賠訴訟原告団 / 弁護団

政治の力で1日も早い解決を

今こそ、被害の原点を、救済の出発点に！

泉南2陣控訴審、まもなく始まる

去る3月28日の2陣地裁判決は、「経済発展を優先すべきである」との趣旨であれば、そのような理由で労働者の健康を蔑るにすることは許されない」と明確に述べて、国の規制権限不行使の責任を認めました。

原告団と弁護団は、国に対して「2陣判決を基準にした早期全面解決」を求め、同アピールには、短期間に100名を越える与野党の国会議員からの賛同が寄せられました。民主党アスベスト対策推進議員連盟、野党各党の国会議員からは、小宮山厚生労働大臣に対して、控訴断念を含む早期解決の決断を求める要請も行われましたが、4月6日午後、「上級審の判断を仰ぐために」などとして、国が控訴。これを受けて原告側も全員が控訴、今週にも大阪高裁の係属部が明らかになり、秋には第1

回期日が開かれる見込みです。被害者の命は待ってくれません。

小宮山厚生労働大臣も、控訴にあたって、「1日も早く解決できるよう私としても努力したい」旨コメントしているとおおり、国は、たとえ控訴審継続中であっても、1日も早い解決に向けた具体的な道筋を明らかにするべきです。

建設アスベスト横浜判決 政治による 救済の必要性を示唆

去る5月25日、横浜地方裁判所は、首都圏建設アスベスト横浜訴訟において、建設労働者らの石綿被害の救済を拒否する判決を言い渡しました。横浜判決は、深刻な被害発生とメーカーと国の加害に正面から向きあわず、石綿建材の有用性なるものを重視しており、いのちや健康を蔑ろにした泉南1陣高裁判決と同様、

極めて不当な判決です。一方で、横浜判決は、「国には、

石綿被害に関する法律の充実、補償制度の創設の可否を含め、再度検証の必要性がある」とし、政治による被害救済の重要性を強く示唆しています。泉南アスベストはわが国の石綿被害の原点であり、建設アスベストは、わが国最大の石綿被害の現場です。国には、横浜判決の指摘を真摯に受け止め、まずは被害の原点である泉南アスベスト問題の早期解決を図ることが求められています。

2005年、兵庫県尼崎市、中野健を襲う市民の心に残った「アボタ・ショック」、百年の歴史をもち大阪府堺地域のアスベスト被害の首魁……。アスベストの社会史を辿り、権力リスクの問題を解き明かす。市民の行動が重要である」と説く。

◆監修者プロフィール◆
 監修：松田毅、竹宮恵子
 制作：神戸大学人文科学研究科倫理創成プロジェクト 京都精華大学機能マンガ研究プロジェクト

AS1号、256頁 定価 1,365 (本体1,300)円 <7月10日発売>

◆マンガ◆
 第1巻 クワガ・ショック アスベストの説明
 第2巻 汚染現場
 第3巻 工場労働者の闘
 第4巻 アスベスト・ボリチキス
 第5巻 闘争
 第6巻 闘争とアスベスト
 第7巻 闘争とアスベスト
 第8巻 闘争
 第9巻 アスベスト・シンシヨム

◆マンガが読むアスベスト問題◆
 20世紀最大のシックハウスの被害者、震災を引き起こした被害者取材、専門家も加えて討論を重ねたドキュメントとストーリー!!

◆マンガが読むアスベスト問題◆
 20世紀最大のシックハウスの被害者、震災を引き起こした被害者取材、専門家も加えて討論を重ねたドキュメントとストーリー!!

◆マンガが読むアスベスト問題◆
 20世紀最大のシックハウスの被害者、震災を引き起こした被害者取材、専門家も加えて討論を重ねたドキュメントとストーリー!!

帰らぬ母に

帰らぬ母に
私は問いかける
そこに花は咲いていますか
暗く小さな工場の中
白い塵（ちり）が舞っていましたね
粉雪のように

帰らぬ父に
私は問いかける
そこに陽はさしていますか
油で汚れた作業場で
働きづめの日々でしたね
子供たちのために

帰らぬ友に
私は問いかける
そこに風は吹いていますか
せわしく行き交うシャトルの音
がんばりやの織り子さんでしたね
なにも知らされずに

遺されたあなたに
私は願う
もう涙は流さないことを
そして安らぎがあることを
いしわたの町に生まれ
いしわたの町で育ち
あなたは今顔を上げて
五月の空へ
歩き始める



大阪の泉南地域。アスベストが原因で亡くなったのは、私たちの母や父や友人だけではなくありません。

石綿紡織百年の歴史の中で、この何十倍何百倍の人が理由も分らず、知られることもなく、死んで行きました。

この詩は、国賠判決の日に間に合うよう、原告有志で話し合っ作りました。

犠牲になった人々に心をこめて捧げるとともに、ノンアスベスト社会の実現に向けて、これからも力を合わせる決意です。

大阪・泉南アスベスト国賠原告一同